

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	総務部総務課長 山崎 祥	電話番号	0852-22-5011
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	私立高等学校等就学支援事業		
目的	(1) 対象	私立高等学校等に在籍する生徒	
	(2) 意図	保護者等の教育費負担を軽減するために、高等学校等就学支援金を交付する。	
事業概要	保護者等の教育費負担を軽減するために、高等学校等就学支援金、高等学校等奨学のための給付金を支給する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	支給対象者に対する交付率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		100.00	100.00	100.00	100.00	
式・定義	交付者数/交付することが適当な申請者数		実績値	100.00	100.00	100.00			%
			達成率		100.00	100.00			%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位		
								目標値	0.00
式・定義			実績値	0.00	0.00				
									達成率

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	640,090	739,348
うち一般財源(千円)	24,632	49,671

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

制度の対象となっている方に適切に交付できており、目標は達成されている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

国公立高校生の授業料無償化に伴い、私立高校生等のいる世帯に対しても公立の授業料相当額を助成することにより、世帯の教育費負担を軽減できた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

特になし

②困っている状況が発生している「原因」

特になし

③原因を解消するための「課題」

特になし

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

今後とも適切に事務を行う。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）